

## 今福線 ～今後の対応について～

小村 晃一

### 1. はじめに

今福線マップが一応完成し、研究部会としての取り組みは一段落するのかと思っていたら、とんでもない展開になってしまった。浜田市長の音頭で、「広浜鉄道今福線を活かすシンポジウム実行委員会」が立ち上がり、島根県技術士会が共催という形で、今年8月8日～9日にシンポジウムが開催される運びとなった。

また、浜田自動車道の利用促進から、「今福線」を有効に活用していきたいと考えておられる島根県土木部高速道路推進課が、1月に広島市内で開催される「しまねふるさとフェア」でマップをパンフレットの形状にして4000部配布される。（私も別の件で参加？）

報道関係にも動きがあり、新聞各紙で今福線が記事になっている。特に山陰中央新報は、今後連載が始まり、技術士会からも原稿を提出することになった。

この大変な盛り上がりの中で、島根県技術士会として出来ること、立ち位置、今後の取り組みかたを決めておかねばならないと考えている。

### 2. 活動内容について考える

浜田市観光交流課や各地区自治会が動き出したことを踏まえて、今後、技術士会として今福線とどのように関わりを持つかが重要になる。以下に試案を示す。

- ・ 今福線を活かしたイベント企画への協力

ウォーキング大会、オリエンテーリング大会、サイクリング大会、遺構写真コンテスト等を提案し、市、各自治体等へ働きかける。コースの選定にも協力する。

（例：写真コンテスト）

橋脚と自然との調和等の写真を応募し、コンテストを開催する。季節毎の変化も撮影すれば興味深い作品となるであろう。仕事柄、私たちが撮ると現場写真、現地踏査写真となってしまうがちだが、写真マニアの方が撮れば芸術的な写真がたくさん生まれることだろう。



- ・ 遺構の土木的な説明

遺構のガイド役として土木遺産的価値を解りやすく説明できるように整理する。子供向けに、解りやすい説明書の製作。また、必要となれば現地説明ができるように訓練する。(浜田方面在住のメンバーが適任か…よろしくお願いします。)

技術士会の会員を対象として、予行練習を兼ねて遺跡めぐりツアーを企画し、参加者から意見を募る。

- ・ 遺構の構造形式別データの整理

橋梁、トンネル等構造形式別に形状、特徴等のデータを整理する。写真も合わせて整理する。トンネルには一応名称がついているが、各橋梁にも名前を付けたい。

- ・ トンネルを利用した活用策の提案

特に下長屋トンネルは全長 1663mの真っ直ぐなトンネルなので、何か良い活用策を提案する。

- ・ 遺構の健全度調査

構造物の健全度評価を行う。特に県道佐野波子停車場線で供用されている5連アーチ橋については、アーチクラウン部にクラックがあり、不安である。



### 3. 最後に

「広浜鉄道今福線を活かすシンポジウム」の開催(今年8月)に向けた準備はかなりの作業量があると思われます。本件に関しては昨年秋以来、和田様、盆子原様をはじめとする地元の部会メンバーに頼りっぱなしでお世話をさせていただき申し訳なく思っています。今後は出来る限り参加する所存です。

また、シンポジウム開催後の継続的な今福線活用にむけて、研究部会として目標を定めて活動していくことが大切だと考えています。